

災害対策・危機管理の考えを早急に示せ

町長…地域防災計画は抜本的に見直す



青木 久子 議員



訓練でも真剣「エイヤー」(来迎寺地区)

消防団OBの活用についての考えは、町長 地区の自主防災組織の中で考えてほしい。老朽化した消防ホースの整備を宝くじ助成で申

自らの町は自ら守る。自主防災組織こそ大切で、全町に設置し、地域協議会を設置せよ。町民税務課長 未設置地区からの問い合わせを受けています。組織化にむけ周知する。

見直しをはかれ 防災計画 今回の災害を機に地域防災計画や国民保護計画等、災害時における危機管理の見直しを早急にはかるべきではないか。町長 国、県が見直しを進めている。当町も抜本的に見直す。災害時における職員の初動マニュアルの詳細計画、町民への行動計画等を検討し、即行動に移れる体制をつくる。

見直しをはかれ 防災計画



地区総出の防災訓練(来迎寺地区)

いかに、防災放送 防災放送で「大きな地震がきます。」との情報は放送すべきではないか。総務企画課長 今回の予算で瞬時全国通報システムと接続する考えです。

洪水ハザードマップや避難所の見直しの時期は。町長 国土交通省新庄河川事務所と一緒に「まるごと・まちごとハザードマップ」に取り組んでいる。災害時に避難所までの距離と場所、誘導標識

防災対策本部に専門知識が豊富で消防業務に精通している危機管理監を配置すべきでは。町長 踏み切れないが、相談する窓口は強化する。

各種ボランティア団体の災害時に対応できる協議会を設置し、意識の統一をはかるべきではないか。町長 社会福祉協議会と連携してボランティア活動推進協議会が発足できるよう指示する。

請してはどうか。町長 検討する。

※緊急医療情報キットとは 掛かり付け医者や持病などの救急情報を専用の用紙に記入し、筒状の容器に入れて冷蔵庫に保管しておくことで、通報により駆けつけた救急隊が迅速な救急活動に活かします。



個人別医療情報キット

と考えている。 まだ公表されていないが、社会福祉関係の利用で話が出ていないのか。町長 具体的に会っていないのでわからないが、見てもらっている段階。その医療法人の他には、陶器関係の工場に使用しているという話が出ています。

以前提案した植物工場に対し、希望者がいれば支援していく考えはないか。町長 廃校利用による事業展開を希望する団体が限りの協力をしていきたい。

高齢者を守る緊急医療情報キットを配布しては

大山 二郎 議員



震災対応は

この度の震災で、何を学び、今後どう対応すべきと考えるのか。

な財源が必要。せめて本部機能を発揮できるだけの電力はもちたいので、今後計画的に整備したい。

「やっぱり大石田もか」と言われるような、風評被害の元になつてはならないと思つている。また、測定は町ではなかなかできないので、県に測定地点の増加や定期的測定を代行してやつてもらえるよう要請している。

者や高齢者のみの世帯について、本年度中に無料配布したい。そのための予算を9月の定例議会に提案する。

どうする、廃校利用 町長として独自の廃校利用法の考えはないか。町長 私案として、高齢者福祉施設・教育研究施設・学童保育施設・製造業なども含めて、雇用の確保や地域に恩恵のある施設として活用していきたい。しかし、町が主体となり事業を起こすことは現実的に難しく、民間活力を最大限引き出す中で具体的なプランニングを進めていきたい。また、一部は地域と第六次産業との結びつきが出来るようなスペースをもちたい

高齡者世帯へ、万一の時役立つ緊急医療情報キットを無料配布出来ないか。町長 もしもの時のため、高齢者自身の病歴やかかりつけの医療機関・親族や知人への連絡先など明確にしておくことは大切なことです。ご提案の緊急医療情報キット配布は、要援護者の生命を守るという点から有効であると認識しており、一人暮らしの高齡

町長 今回の対応を教訓に、職員の動員計画、避難者の避難体制・配置計画、ボランティア養成計画等、町の防災計画を見直し、すぐに行動に移せる詳細計画の作成等を検討する。

原発事故による放射能被害、子供たちの安全と保護者の安心のため、ひいては農作物の安全をアピール、そして安全・安心の町大石田をアピールするためにも、少ない予算でできるのだから、線量計を保育園・小中学校へ配布し、数値をホームページなどで公表すべきと思うができないのか。

町長 町独自で測定値を公表し何かあった場合、

町長 電源確保には莫大な財源が必要。せめて本部機能を発揮できるだけの電力はもちたいので、今後計画的に整備したい。

町長 町独自で測定値を公表し何かあった場合、

町長 町独自で測定値を公表し何かあった場合、